

# WEEKLY

# 一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

## Rotary



### The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日  
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



## ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

### 2017年9月14日 第3303回例会

会 長 青山 佳裕 副 幹 事 山口 元彦  
幹 事 関戸 徹 副 会 長 船橋 正員  
会長エレクト 榊原 讓 会報委員長 渡邊 肇

#### プログラム

#### ガバナー補佐訪問

西尾張分区ガバナー補佐  
西村 利夫君  
(尾張中央RC)

国 歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

第3302回例会の記録  
2017年8月31日(木)

#### 会長挨拶

神道・真清田神社

青山佳裕

真清田さんの由来は(名神大社・神階正四位上・国幣中社列格＝格式ある靈験新たかな神社)木曾川の流域に沿って恩恵を受け、木曾川の灌漑用水による水田地帯で清く澄んだ水によって形成されていました。そこから真清田(ますみだ)と名付けられたと言われています。『古事記』『日本書紀』の記紀説にも、天皇家の縁起として出ています。徳川時代には神領として333石を奉られました。戦後は一宮市の氏神様として近隣から信仰を寄せられています。「一宮市」の名称も尾張の国一宮であることに由来しており、全国で「一宮」が1市6町ありますが、市制のひかかれている自治体は当地域だけです。真清田神社史で「一宮」とする初見史料として、永万元年(1165)6月「神祇官諸社年貢注文」(永万文書)に尾張の国一宮と記されています。今後、一宮制について調べ発表したいのですが、説いろいろでハッキリしない事ばかりです。しばらくお待ちください。

9月の年中行事:「抜穂祭(ヌキホサイ)」9月19日(例年9月中下旬)

5月の御田植祭と対になる祭典、御齋田(一宮市北小淵字道上53)の刈り取り収穫の祭。収穫した米は11月23日の新嘗祭にお供えされます。

#### 次回の予定

後藤淳子氏  
フランス・アルザス開発公社  
日本代表部企業誘致マネージャー

\*\*\*\*\*

#### 国際ロータリー第2760地区

#### 2017-18年度 西尾張分区ガバナー補佐

#### 西村利夫君 (尾張中央RC)



生年月日 1949年11月24日  
職業分類 自動車学校  
勤務先 (有)CBC自動車学校  
役 職 取締役会長  
ロータリー歴  
1983年12月 創立メンバー  
2004~05年度 会長

\*\*\*\*\*

#### 会員誕生日おめでとう

村川文徳君(9月 2日) 榊原 讓君(9月 9日)  
服部昌志君(9月15日) 森 全光君(9月16日)  
日野正美君(9月19日) 鴨下昌充君(9月19日)  
宮澤伸光君(9月21日) 野杵章夫君(9月27日)  
山下啓介君(9月27日)

#### 会員夫人誕生日おめでとう

山田一仁君夫人容 子 様(9月 5日)  
榊原 讓君夫人真由美様(9月 9日)  
森 全光君夫人絹 江 様(9月10日)  
鎌田芳彰君夫人奈美子様(9月16日)  
吉山佐人規君夫人ネリア様(9月23日)  
大森一人君夫人喜代子様(9月30日)

#### 結婚記念日おめでとう

川松久芳君(9月16日) 大森輝英君(9月19日)  
富永 修君(9月25日)

#### 委員会報告

##### 出席報告

出席報告	副委員長	伊藤幸一
現在の会員数		104名
本日のビジター		0名
本日の出席数		63名
他クラブ出席数		9名
本日の出席率		69. 23%
前々回の出席率		98. 88%

##### ニコボックス

☆ 鈴木洋志君

本日、私の尊敬する萩原中学校校長・小澤厚義先生にテーマ「これからの教育」で卓話を頂きます喜びで。

☆ 森 俊夫君

中学校の同級生だった小澤厚義君の卓話を聞ける喜びで。

☆ 木村 実君

娘夫婦が勤務先のテキサス・ヒューストンから帰ってきました。8/22に出発したためハリケーンの影響をかなりうけてまぬがれました。娘の友人からの連絡ですと水が腰より上まで有りワニが舗道を歩いているそうです。又、孫と一緒におじいちゃんが出来ます。但し30分間のみ！！

☆ 吉山佐人規君 森 俊夫君

米山奨学生の儲 葉明君をお迎えして。

☆ 青山佳裕君 関戸 徹君

例会講師として、一宮市立萩原中学校。小澤厚義校長先生をお迎えした喜びで。

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

卓話

小澤厚義氏

(一宮市立萩原中学校校長)

テーマ「これからの教育」



今回、鈴木さんからの紹介で、このような会にお招きいただき、とても光栄に思っています。また、本校の同窓会長の則竹さんにも今日の会をどのように行えばよいか相談しました。たった一言でした。それは「好きにやればいい」。鈴木さんとは、私が奥小学校の教頭の時きのPTA会長さんでした。とても気さくで「何でも言ってよ。すべてOKです。」という言葉をいただき、思いをたくさん話すことができました。今でもいろいろな分野について意見をいただいたり、意見を言ったりしています。とても新鮮な気持ちになり、活力がわいてきます。そんな鈴木さんから「拙速は巧緻に勝る」という言葉をいただき、実践しています。愛知県の重鎮である則竹さんには、こんな私にもよく声をかけていただき、とてもうれしく思います。そして、いつも温かく私を見てくれます。常にスピード感があり、決めたことは最後までやりきる強さがあります。先日、萩原を中心とした校長・教頭といっしょに会食をしようということになりました。私が幹事を仰せつかったので、その次の日には、人数を報告しました。14人に声をかけ、その日の内に14人から出席の連絡がありました。則竹さんからみんなが学んだことは「自分から築いた縁は切るな」です。そんな方々がごろごろしている中で、これからの教育はどうしていくとよいか考えてみました。今の子どもたちを見てみると、おもしろい子どもたちがたくさんいます。3年ほど前に母校である一宮高校の体育祭に行っていました。そこで生徒の一人があいさつするときに、「私はあいさつは得意ではありません。そのかわり歌を歌います。」と言って、ビートルズのヘイジュードを歌い始めました。最初は、一人だけでしたがだんだん輪が広がり、最後には合唱になっていました。人の心を動かし、1つになる素晴らしさを肌で感じる事ができた一瞬でした。私にはないアイデアを躊躇することなくやりとげた生徒の

顔は、やり遂げた顔以上に次を仕掛けていく顔に私は見えました。

今日は、「これからの教育」について、少し話をする予定ですが、イメージを持ってもらいたいと思います。則竹さんとおもしろい子どもたちがコマーシャルを作ることになったとしましょう。コンセプトは「日本の女性に、スポーツの素晴らしさや健康的な身体づくりの必要性を伝えたい」です。このコンセプトで作られたアンダーハマーのコマーシャルをご覧ください。これからは、少子高齢社会になり、働き手が激変してきます。また、どんな仕事も成長していくか。それは創造力をフルに生かし商品を開発していく人とその商品の価値を高めていく人が手を取り合っていくことによりお互いやりがいを持って仕事をしていくことだと言われています。まさに、則竹さんのような価値を高めていく人とおもしろい子どもたちのような創造力をフルに生かし商品化していく人がコラボしていくことが求められています。そのために、お互いが通じ合えるコミュニケーション能力を構築していくことが大切であり、物事の「見方・考え方」を深く考え、自分の創造力と実践力を高めていくことが大切になります。

教育では、10年に1度の割合で、学習指導要領が改訂されます。学習指導要領とは、全国どこでも一定水準の教育が受けられるよう各学校でカリキュラムを編成する際の基準です。小学校6年生では、この漢字を習うというようなことが定められます。今回、学習指導要領が平成32年度に小学校が33年度に中学校が全面実施されます。

次期学習指導要領のキーワードとして、今までは、どんな子供を育てたいかという明確な人間像がありましたが、今回は「予測不能な未来社会である。どのようになっても生きていけるようにする」が子どもたちに求められる資質・能力になりました。その中で、特に学び方について話したいと思います。どのように学んでいくのか。1つは、主体的な学び＝指示されてやる学習ではない。(問題解決するのは自分) 2つ目は、対話的な学び＝自分一人で完結する学習ではない。(より深く議論する中で答えを引き出す) 3つ目は、深い学び＝教科にあった「見方・考え方」を道具として使う学習。(手立てや仕組みを丁寧に学べるようにする) この3つの学び方を通して、通じ合えるコミュニケーション能力を構築し、物事の「見方・考え方」を深く考え、自分の創造力と実践力を高めていくことができる。その結果、創造力をフルに生かし商品を開発していくことが人とその商品の価値を高めていく人が手を取り合っていく必要が。学習指導要領では、地域の方が参画していくことが多く記述されています。3つの学び方を実践してみえるこの場に見える方々がゲストティーチャーになり、参画していただけるととてもうれしく思います。

最後に、7月29日の新聞にこんな記事が載っていました。豊田章一郎氏が講演で「若者たちへ」のメッセージ内容です。日本から米国への留学生は十年間で2万3千人も減り2014年は1万9千人。豊かな日本に満足し、社会全体が内向きになったことに危機感を覚える。佐吉の「障子を開けてみよ、外は広いぞ」という言葉が私は大好き。明治維新や戦後の日本がそうだったように、若い世代は世界に目を向けて大きな夢を描き、主体的に行動してほしい。「若者たちへ」のメッセージこそがこれからの教育に必要なことであると改めて思いました。

#### 例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
名古屋北	9月15日(金)	名古屋東急ホテル	有
一宮中央	9月20日(水)	一宮商工会議所ビル1階 (17:30～18:00)	有

※ 時間に指定のないクラブの受付は12:00～12:30です。